



次世代ウェアラブルエレクトロニクスの開発最前線～

近年、フレキシブルエレクトロニクス、プリンテッドエレクトロニクス技術の急速な発展に伴い、それらを応用したウェアラブルデバイスを医療、福祉の分野へ応用する研究が盛んに行われています。今回のシンポジウムでは“ウェアラブルエレクトロニクス”の考えを拡張し、「柔らかいバイオマテリアル、エレクトロニクスの社会貢献」をキーワードに講演会を企画いたしました。講師には当エレクトロニクス分野でご活躍の先生方に加え、生体親和性材料や人工筋肉をバックグラウンドとした講師の先生方をお招きし、当分野に関わる最先端研究を紹介していただきます。

主催 : 応用物理学会 有機分子バイオエレクトロニクス分科会

日時 : 平成 27 年 3 月 9 日(月) 13 時～17 時 30 分

会場 : 東京大学 山上会館 大会議室

参加費 : 下表参照 テキスト 1000 円 (M&BE 分科会雑誌 2015 年 No1)

	一般	学生
M&BE 分科会個人会員	5,000 円	2,000 円
応用物理学会・協賛学会個人会員または M&BE 分科会賛助会員*	7,000 円	2,000 円
上記以外**	12,000 円	3,000 円

*M&BE 分科会賛助会社所属の方は分科会会員扱いとします

**現在非会員の方でも参加申込時に M&BE 分科会(年会費 A:4,000 円, B:3,000 円, 学生員:1,000 円)にご入会いただければ、本講習会より会員扱いとさせていただきます。

■プログラム(敬称略)

13:00～14:00	「生体親和性ソフトバイオマテリアルの分子設計—中間水コンセプトによるバイオ界面の創製—」 田中 賢 (山形大学)
14:00～15:00	「フレキシブルエレクトロニクスが拓く生体情報計測」 関野 正樹 (東京大学)
15:00～15:20	休憩
15:20～16:20	「ナノカーボン高分子アクチュエータ」 安積 欣志 (産業技術総合研究所)
16:20～17:20	「有機エレクトロニクスの生体・医療デバイス応用」 横田 知之 (東京大学)

講演終了後に意見交換会(18:00～19:30)を予定しております(会費別)

■申込方法:

プログラム・参加申し込み方法等の詳細は後日会員向けメール案内および M&BE 分科会ホームページにてご案内いたします。**参加お申込み後、参加費を下記分科会口座へお振込み願います。なお、お振込みでは、必ず参加者氏名(個人名)にてお振込み願います。原則、参加費の払い戻し、請求書の発行は致しません。領収書は、当日会場受付にてお渡しいたします。**

申込締切り: 2月20日(金) 参加費入金締切り: 2月27日(金)

振込先: 三井住友銀行 本店営業部(本店も可) 普通預金 3379632

(コソキ) ヲヨク ツカ ヲカ ヲキブン. バイオエレクトロニクスンカ

(公社) 応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

■研究会世話人:

関谷 毅 (阪大 e-mail: sekitani@sanken.osaka-u.ac.jp)

近松 真之(産総研 e-mail: m-chikamatsu@aist.go.jp)

熊木 大介(山形大 e-mail: d_kumaki@yz.yamagata-u.ac.jp)